

銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情書

2019年 2月27日

長崎市議会議長 五輪清隆様

陳 情 人

住 所 長崎市桜町9-6長崎地区労内

団 体 名 「銭座防空壕群を保存する連絡会」

共同代表 中村 住代  月川 秀文 

連 絡 先 電話 

議会事務局議事調査課



## 銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情

### 1 陳情の趣旨

九州新幹線長崎ルート建設現場で確認された15ヶ所の防空壕群について、被爆当時の社会的状況を示す貴重な「戦争・原爆遺構」であり、しかも三菱造船所幸町工場敷地内に併設されていた「福岡俘虜収容所第14分所」の捕虜の人々とも深い関係にあることから、私達はこの1年余り、長崎市や鉄道運輸機構、長崎市議会に保存・活用を求めてきました。しかし、長崎市は私達の要請に全く応えようとせずわずかに4ヶ所残っていた防空壕のうち、一番大きくかつトンネルや高架の本体構造物から遠い場所に位置していた①防空壕を2月16日、鉄道運輸機構は長崎市に事前連絡もなく一方的に取り壊してしまいました。被爆都市という地域の特別の事情を何ら考慮することなく工事を進める鉄道運輸機構、「戦争・原爆」の「記憶の継承」のためには「防空壕の保存・活用」が極めて重要であることを全く理解しない長崎市の浅薄な平和行政に怒りと失望を禁じえません。改めて私達は、後世に禍根を残さないためにも残された3ヶ所の貴重な防空壕の保存・活用を含む以下のことにつきまして慎重な対応を切にお願いしたく陳情致します。

### 2 陳情項目

- ① 残された3ヶ所の防空壕の保存・活用をはかること。
- ② 説明板の設置について。
- ③ あらたに防空壕と思われる空洞が1ヶ所確認されたので防空壕であるかどうか確認すること、あわせて同時に保存・活用をはかること。